

# 九州ブロッククラブネットワーク アクション2021

## 「運動部活動との連携」

佐賀県中学校体育連盟 島 一満

# 1 佐賀県中学校体育連盟

創設：1948年（昭和23年）

73年の歴史と伝統ある連盟

目的：佐賀県中学校生徒の体育を振興し、体位体力の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健全な人間の育成

加盟学校数：99校（R3）

生徒数：24,344人

支部：9地区の中学校体育連盟

## 2 運動部活動とは

運動部活動は、学校教育の一環として、スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒の自主的、自発的な参加により、顧問の教員をはじめとした関係者の取組や指導の下に運動やスポーツを行うものであり、多くの生徒の心身にわたる成長と豊かな学校生活の実現に大きな役割を果たし、様々な成果をもたらしている。

「運動部活動での指導のガイドライン」

文部科学省平成25年5月

# 3 運動部活動の意義

学校教育の一環として行われる  
〈意義・役割・成果〉

- ・ 体力の向上や健康の増進
  - ・ 他者を尊重し他者と協同する精神、公正さと規律を学ぶ態度や克己心を培う
  - ・ 実践的な思考力や判断力を育む
- など人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となる。

# 4 運動部活動の現状

〈 生徒数の減少 〉

H28 生徒数25,438人 → R3 24,344人(1,094人減)

今後、R8 22,694人(1,650人減)

(1) 運動部員数の減少 18競技

H28 16,746人 → R3 14,642人 (2,104人減)

社会体育クラブ参加は

H28 1,496人 → R3 1,547人 (51人増)

(2) 団体戦出場チームの減少 8競技

H28 755チーム → R3 683チーム(72チーム減)

# 5 県中体連の対応

## (1)複数校合同チーム編成 6競技

学校単独では出場最低人数に足りず、チーム編成ができないとき、複数校合同チームで大会に参加

H17導入 ①満ちていない学校同士

H18から ①+②満ちていない学校に生徒を補充

H19から ①+②+③満ちていない学校が満たしている  
学校と合併

R3までは、複数校を2校としている。

# 5 県中体連の対応

## (2)外部指導者の導入

顧問の教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。（当該学校長の判断）

H15から全競技全種目外部指導者のベンチ入りを認める  
引率はできない R3登録者数 339名

※運動部活動指導員については、H30から全競技で引率・監督を認める。

# 6 最後に

## 運動部活動

- ・ 日本スポーツ界に果たしてきた役割  
身近にスポーツに取り組む場の提供  
楽しむ～強化まで幅広く
- ・ 学校教育活動に果たしてきた役割  
人格の形成 心身の健康 健全育成

## 課題

- ・ 生徒数減による部活動の維持、指導者の確保、  
地域との連携など